



悪天候下のジャパンカップで ヴァルグレンが9位入賞！

10月14、15日に栃木県宇都宮市にて第30回目を迎えた「ジャパンカップサイクルロードレース」が開催されました。昨年の優勝チーム、EFエデュケーション・イージーポストに加え、今大会のために編成された日本代表チームとして、大門宏監督、育成チームに所属する門田祐輔、織田聖、橋川丈が参戦しました。

大会本戦、森林公園でのロードレースは、朝から大雨に見舞われたため、レース周回数が16から13に減らされてスタートしました。序盤からUCIワールドチームがハイペースでレースを進め、多くの選手がリタイアする厳しい展開に。終盤、一向に止まない雨のもとで、勝負をかけた激しいアタックの攻防が始まると、3選手が先行に成功します。そして彼らを追う少人数の集団にEFはミカエル・ヴァルグレンを送り込み、ヴァルグレンは2022年の大ケガからの完全復活をアピールするかのように、チーム内最上位の9位でフィニッシュ。また完走者48名（日本人8名）のサバイバルレースでしたが、織田聖が41位でレースを終えました。



昨年2位のアンドレア・ピッコロ（イタリア／上写真左から2番目）を含む強力な布陣での参戦となったEFエデュケーション・イージーポスト。本戦では、ミカエル・ヴァルグレン（デンマーク／上写真右端）が悪天候に負けず、素晴らしい走り方で9位でフィニッシュ。



大門監督が率いる、若手選手を中心に編成された日本代表チーム。



19ヶ国、30選手が所属する世界トップカテゴリーのUCIワールドチーム。



会場内NIPPOブースでは、選手たちがレース前にウォーミングアップを行い、レース後にはファンサービスを行いました。



レースを終えて、選手、EFエデュケーション・ファースト、NIPPOの関係者が揃って集合写真。悪天候下で、それぞれに大変な1日になりましたが、良い時間を過ごすことができました！



左／2014～19年にNIPPOと活動したファルネーゼヴィーニのショットティCEOが来日。吉川社長との再会を喜びました。右／悪天候でも大勢のファンが会場へ。

MORE INFO > <https://teamnippo.jp>